

## お台場旧防波堤（2島）における鳥類のモニタリング調査 秋季調査（10月）報告書

平成29年11月 一般社団法人お台場海づくり協議会

### 1. 調査目的

お台場海浜公園内防波堤における鳥類の生息環境の保全について検討するために、当地における鳥類の利用状況の現況を把握するとともに、経年変化を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

### 2. 調査対象地域

お台場海浜公園内堤防2島及び周辺水域（周辺50m程度）

### 3. 調査期日等

調査期日等を表1に示す。

表1 調査期日等

調査期日	調査時間	天候
平成29年10月27日（金）	8:00~14:00	晴

### 4. 調査方法

各調査項目において、倍率8~10倍程度の双眼鏡や倍率20~60倍程度の望遠鏡などを必要に応じて使い分けながら調査を実施した。また、上陸後に実施する（2）~（4）の調査については、調査精度と定量性を確保するため、2島に調査員を1名ずつ配置し、2島同時に実施した。

#### （1）船上センサス

鳥の島の2島の50m程度沖を船舶により定速で周回しながら、鳥の島及び周辺を観察し、目視または鳴き声などで確認した鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。

#### （2）ラインセンサス

各島の岸沿いを縦断するセンサスルートを設定し、時速1~2km程度の速度で歩きながら、目視または鳴き声などで確認した鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。センサスルートは各島に1本を設定し、観察範囲は片側50m（両側100m）とした。

(3) 定点観察調査

2島の各2点に眺望の卓越した定点を設定し、目視または鳴き声などで確認した鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。観察半径は50m程度、調査時間は1定点あたり30分間とした。

(4) 任意観察調査

鳥の島の2島を任意に踏査し、目視または鳴き声などで確認した鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。



写真 1 各調査手法における調査風景

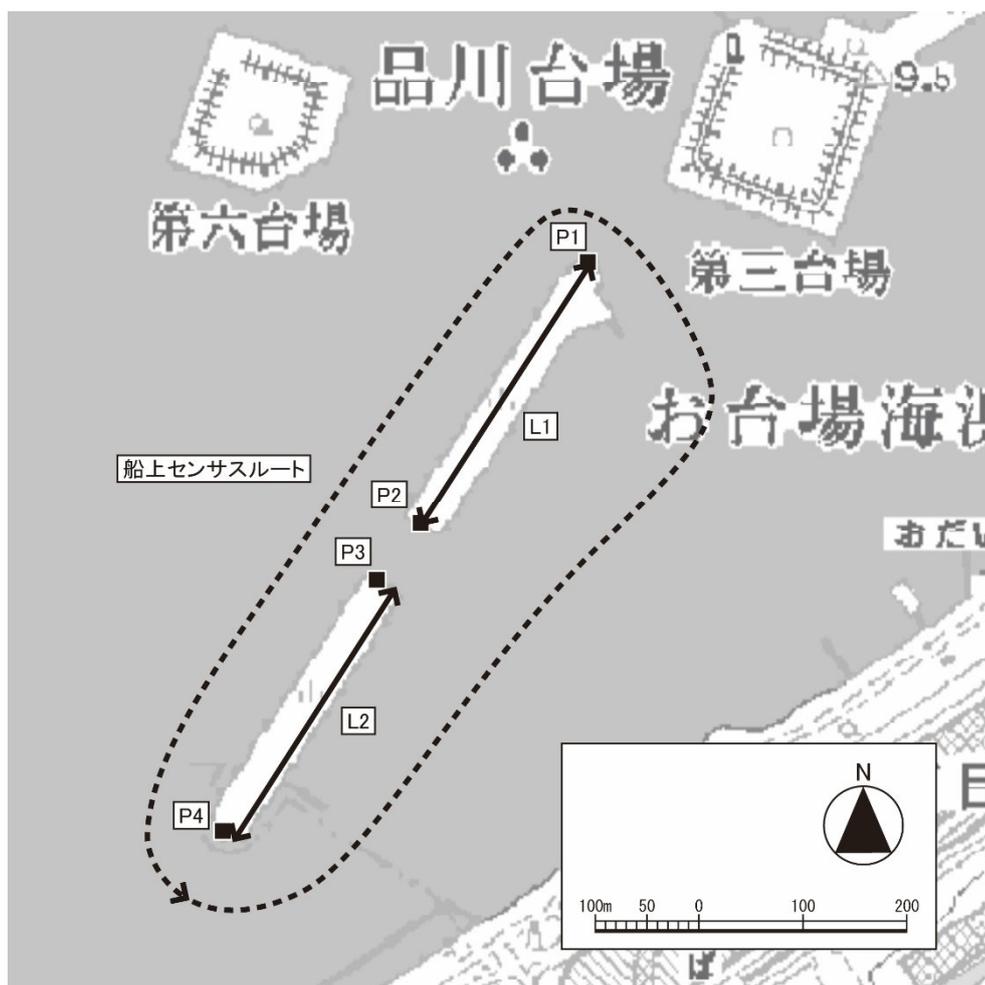


図 1 調査地点図

## 5. 調査結果

### (1) 現地調査結果

- 現地調査の結果、10目 22科 30種の鳥類を確認した(表2)。
- 水域やその周辺に生息する種として、カルガモやカワウ、アオサギ、イソシギ、ユリカモメ、ハクセキレイ等 12 種を確認した。また、モズやシジュウカラ、メジロ、カワラヒワ等の森林やその周辺に生息する種を 11 種確認した。そのほか、猛禽類であるトビやオオタカ、ハヤブサ、都市部に普通に生息するキジバトやハシブトガラス、スズメ等も確認した。
- 確認種の多くは、カルガモやカワウ、アオサギ等の留鳥であったが、スズガモやユリカモメ、ジョウビタキ、アオジ等の冬鳥や、渡りの移動途中に一時的に通過または立ち寄ったと考えられるヒバリやキビタキ、タヒバリ等も確認した。
- 島内で確認個体数が多かった種はヒヨドリとスズメであった(表3～5)。ヒヨドリ

はラインセンサスにおいて2島で合計85個体(表4)、スズメはラインセンサスにおいて2島で合計38個体を記録した(表4)。ヒヨドリは、島内の樹林に飛来する数羽から40羽の群れを断続的に確認したが、島内の滞在時間は短く、すぐに島外へ飛去した。10月は本種の渡りの時期であり、渡りの移動途中の群れが一時的に立ち寄ったと考えられる。スズメは、島内の草地でヒユ科植物やイタドリ、センダングサ類の種子を採餌する個体を多数確認した。島内の草地環境は、本種にとって好適な採食地になっていると考えられる。

- オオタカは2島で確認した(表2)。島内を採食や休息場所等として利用していると考えられる。今後、島内及びその周辺で越冬する可能性がある。
- 重要種は、スズガモ、オオバン、イソシギ、トビ、オオタカ、カワセミ、ハヤブサ、モズ、ヒバリの合計9種を確認した(表2)。スズガモ及びオオバンは、島周辺の海域で遊泳や採食をする個体を、カワセミ及びイソシギは護岸等で採食や飛翔する個体を確認した。島内の樹林では樹木にとまるオオタカやモズ、高茎草地ではヒバリを、島の上空ではトビ、ハヤブサを確認した。
- 確認した重要種のうち、特に保全上の重要度が高い種としては、オオタカ、ハヤブサの2種が挙げられる。オオタカは東京都の絶滅危惧IA類、ハヤブサは絶滅危惧IB類に該当する貴重な種である。

## (2) 前回調査との比較

- 平成28年の秋季(10月)～平成29年の夏季(7月)までの調査を第2回、平成29年の秋季(10月)以降の調査を第3回とし、第2回と第3回の秋季調査の結果を比較したところ、第2回では島の北側(以下、北側)で24種、島の南側(以下、南側)で20種、合計29種、第3回では北側で21種、南側で28種、合計30種であった(表6)。第2回の確認種のうち、約6割(18種)は第3回でも確認されており、鳥類相に大きな変化はなかった。
- 第3回で新たに確認した種は、ホシハジロ、ヒバリ、タヒバリの3種であった(表7)。いずれも渡りの移動途中に一時的に立ち寄ったと考えられる。
- 種数及び個体数の変化について、調査手法別に比較を行った。種数・個体数ともに顕著な変化は見られなかったが、鳥の島の秋季の鳥類相の特徴として、ヒヨドリとスズメの個体数が多い傾向が見られた(表7～9)。

表 2 鳥類確認種目録

No.	目名	科名	種名	調査月		重要種選定基準			
				秋季(10月)		①	②	③	④
				北側	南側				
1	カモ	カモ	カルガモ	○	○				
2			ホシハジロ		○				
3			スズガモ		○				留意
4	ハト	ハト	キジバト	○	○				
5	カツオドリ	ウ	カワウ	○	○				
6	ペリカン	サギ	アオサギ	○	○				
7	ツル	クイナ	オオバン	○	○			VU	
8	チドリ	シギ	イソシギ	○	○			VU	
9		カモメ	ユリカモメ	○	○				
10			ウミネコ	○	○				
11			セグロカモメ		○				
12	タカ	タカ	トビ	○	○			NT	
13			オオタカ	○	○			NT	CR
14	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ		○			VU	
15	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ		○	国内	VU	EN	
16	スズメ	モズ	モズ	○	○			VU	
17		カラス	オナガ	○	○				
18			ハシブトガラス	○	○				
19		シジュウカラ	シジュウカラ	○	○				
20		ヒバリ	ヒバリ		○			VU	
21		ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○				
22		ウグイス	ウグイス		○				
23		メジロ	メジロ	○	○				
24		ヒタキ	ジョウビタキ	○	○				
25			キビタキ	○					
26		スズメ	スズメ	○	○				
27		セキレイ	ハクセキレイ	○	○				
28			タヒバリ		○				
29		アトリ	カワラヒワ	○					
30	ホオジロ	アオジ		○					
合計	10目	22科	30種	21種	28種	0種	1種	2種	9種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

注 2. 重要種選定基準は以下の通りである。

- ①文化財保護法(昭和 25 年、法律第 214 号)  
天:天然記念物 特:特別天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号;平成 23 年改訂)  
国内:国内希少野生動物 国際:国際希少野生動物
- ③「第 4 次レッドリストの公表について」(平成 29 年、環境省)における掲載種  
EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類  
NT:準絶滅危惧種 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群
- ④「レッドデータブック東京 2013~東京都の保護上重要な野生生物種(本土部解説版)~」(平成 25 年、東京都)における区部の掲載種  
EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類  
NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 留意:留意種

表 3 船上センサス結果

No.	目名	科名	種数	調査月		合計 個体数
				秋季(10月)		
				北側	南側	
1	カモ	カモ	カルガモ	5	4	9
2			ホシハジロ	0	3	3
3			スズガモ	0	20	20
4	ハト	ハト	キジバト	0	2	2
5	カツオドリ	ウ	カワウ	2	13	15
6	ペリカン	サギ	アオサギ	25	2	27
7	ツル	クイナ	オオバン	0	2	2
8	チドリ	シギ	イソシギ	0	2	2
9		カモメ	ウミネコ	0	1	1
10	タカ	タカ	トビ	0	1	1
11			オオタカ	1	1	1
12	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	1	1
13	スズメ	モズ	モズ	0	1	1
14		カラス	ハシブトガラス	4	1	5
15		ヒヨドリ	ヒヨドリ	0	62	62
16		メジロ	メジロ	2	0	2
17		アトリ	カワラヒワ	7	0	7
合計	9 目	14 科	17 種	46	115	161

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 4 ラインセンサス結果

No.	目名	科名	種名	調査月				合計 個体数
				秋季(10月)				
				L1(北側)		L2(南側)		
				個体数	優占度	個体数	優占度	
1	ハト	ハト	キジバト	4	6%	1	1%	5
2	カツオドリ	ウ	カワウ	3	5%	2	2%	5
3	チドリ	シギ	イソシギ	1	2%	0	0%	1
4		カモメ	ユリカモメ	4	6%	2	2%	6
5	スズメ	モズ	モズ	1	2%	0	0%	1
6		カラス	オナガ	2	3%	0	0%	2
7			ハシブトガラス	4	6%	2	2%	6
8		シジュウカラ	シジュウカラ	1	2%	0	0%	1
9		ヒバリ	ヒバリ	0	0%	1	1%	1
10		ヒヨドリ	ヒヨドリ	17	26%	68	69%	85
11		ウグイス	ウグイス	0	0%	1	1%	1
12		メジロ	メジロ	2	3%	5	5%	7
13		スズメ	スズメ	24	37%	14	14%	38
14		アトリ	カワラヒワ	2	3%	0	0%	2
15	ホオジロ	アオジ	0	0%	3	3%	3	
合計	4目	14科	15種	65	100%	99	100%	164
				12種		10種		15種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 5 定点観察調査結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				秋季(10月)				
				北側		南側		
				P1	P2	P3	P4	
1	カモ	カモ	カルガモ	5	8	3	1	17
2	カツオドリ	ウ	カワウ	7	3	0	3	13
3	ツル	クイナ	オオバン	0	0	0	5	5
4	チドリ	シギ	イソシギ	0	3	1	1	5
5		カモメ	ユリカモメ	10	0	0	6	16
6			ウミネコ	1	0	2	0	3
7			セグロカモメ	0	0	1	0	1
8	タカ	タカ	トビ	2	0	0	0	2
9	スズメ	カラス	オナガ	0	0	1	0	1
10			ハシブトガラス	5	0	0	5	10
11		シジュウカラ	シジュウカラ	2	0	2	5	9
12		ヒヨドリ	ヒヨドリ	15	5	22	14	56
13		ウグイス	ウグイス	0	0	1	0	1
14		メジロ	メジロ	1	0	0	0	1
15		ヒタキ	ジョウビタキ	3	0	1	0	4
16		スズメ	スズメ	15	3	8	0	26
17		セキレイ	ハクセキレイ	3	2	1	0	6
18		アトリ	カワラヒワ	0	3	0	0	3
合計	6 目	15 科	18 種	69	27	43	40	179

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 6 前回調査結果との比較（秋季）

No.	種名	第 2 回(H28)		第 3 回(H29)	
		秋季(10 月)		秋季(10 月)	
		北側	南側	北側	南側
1	マガモ	○	○		
2	カルガモ	○	○	○	○
3	オナガガモ		○		
4	ホシハジロ				○
5	スズガモ				○
6	キジバト	○	○	○	○
7	カワウ	○	○	○	○
8	アオサギ	○		○	○
9	ダイサギ	○			
10	コサギ	○	○		
11	オオバン			○	○
12	イソシギ	○	○	○	○
13	ユリカモメ	○		○	○
14	ウミネコ	○	○	○	○
15	セグロカモメ				○
16	ミサゴ	○			
17	トビ		○	○	○
18	オオタカ	○	○	○	○
19	カワセミ				○
20	ハヤブサ		○		○
21	モズ	○		○	○
22	カケス		○		
23	オナガ			○	○
24	ハシブトガラス	○	○	○	○
25	シジュウカラ	○	○	○	○
26	ヒバリ				○
27	ヒヨドリ	○	○	○	○
28	ウグイス				○
29	メジロ	○	○	○	○
30	ムクドリ	○			
31	ジョウビタキ			○	○
32	キビタキ			○	
33	スズメ	○	○	○	○
34	キセキレイ	○			
35	ハクセキレイ	○	○	○	○
36	セグロセキレイ		○		
37	タヒバリ				○
38	カワラヒワ	○	○	○	
39	ホオジロ	○			
40	アオジ				○
41	オオジュリン	○			
合計		24 種	20 種	21 種	28 種
		29 種		30 種	

表 7 (1) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 3 回)

No.	種名	調査時期					
		第 1 回 (H27 夏～28 春)		第 2 回 (H28 秋～29 夏)		第 3 回 (H29 秋～)	
		北側	南側	北側	南側	北側	南側
1	オカヨシガモ				○		
2	マガモ		○	○	○		
3	カルガモ	○	○	○	○	○	○
4	オナガガモ				○		
5	ホシハジロ						○
6	スズガモ	○	○	○	○		○
7	ウミアイサ		○				
8	カンムリカイツブリ	○	○	○	○		
9	ミミカイツブリ			○			
10	ハジロカイツブリ	○	○	○	○		
11	キジバト	○	○	○	○	○	○
12	カワウ	○	○	○	○	○	○
13	ササゴイ		○				
14	アオサギ	○	○	○	○	○	○
15	ダイサギ	○	○	○	○		
16	コサギ	○	○	○	○		
17	オオバン	○	○	○	○	○	○
18	コチドリ	○	○		○		
19	イソシギ	○	○	○	○	○	○
20	ユリカモメ	○	○	○	○	○	○
21	ウミネコ	○	○	○	○	○	○
22	カモメ	○	○				
23	セグロカモメ	○	○	○	○		○
24	オオセグロカモメ	○	○	○	○		
25	コアジサシ	○	○	○	○		
26	ミサゴ	○		○			
27	ハチクマ	○					
28	トビ	○	○	○	○	○	○
29	ハイタカ		○		○		
30	オオタカ	○		○	○	○	○
31	ノスリ		○	○	○		
32	カワセミ			○			○
33	チョウゲンボウ		○				
34	ハヤブサ			○	○		○
35	モズ			○	○	○	○
36	カケス				○		
37	オナガ			○	○	○	○
38	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○
39	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○
40	ヒバリ						○
41	ツバメ	○	○	○	○		
42	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○
43	ウグイス	○	○	○	○		○
44	メジロ	○	○	○	○	○	○
45	オオヨシキリ			○			

表 7 (2) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 3 回)

No.	種名	調査時期					
		第 1 回 (H27 夏～28 冬)		第 2 回 (H28 秋～29 夏)		第 3 回 (H29 秋～)	
		北側	南側	北側	南側	北側	南側
46	ムクドリ	○	○	○	○		
47	コムクドリ				○		
48	シロハラ	○	○	○	○		
49	アカハラ	○			○		
50	ツグミ	○	○	○	○		
51	ジョウビタキ	○		○	○	○	○
52	イソヒヨドリ	○	○		○		
53	キビタキ	○				○	
54	スズメ	○	○	○	○	○	○
55	キセキレイ			○			
56	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○
57	セグロセキレイ				○		
58	タヒバリ						○
59	カワラヒワ	○	○	○	○	○	
60	ホオジロ	○		○	○		
61	アオジ	○	○	○	○		○
62	オオジュリン			○			
63	ドバト	○	○				
合計	63 種	41 種	40 種	44 種	47 種	21 種	28 種
		47 種		53 種		30 種	

表 8 船上センサス結果（第 2～3 回、秋季）

No.	種名	調査時期			
		秋季(10月)			
		第 2 回 (H28)		第 3 回 (H29)	
		北側	南側	北側	南側
1	マガモ	6	1	0	0
2	カルガモ	11	0	5	4
3	ホシハジロ	0	0	0	3
4	ズガモ	0	0	0	20
5	キジバト	2	9	0	2
6	カワウ	8	10	2	13
7	アオサギ	23	0	25	2
8	コサギ	1	0	0	0
9	オオバン	0	0	0	2
10	イソシギ	1	2	0	2
11	ウミネコ	0	0	0	1
12	トビ	0	0	0	1
13	オオタカ	0	1	1	0
14	カワセミ	0	0	0	1
15	モズ	0	0	0	1
16	ハシブトガラス	3	1	4	1
17	ヒヨドリ	25	40	0	62
18	メジロ	0	0	2	0
19	スズメ	8	0	0	0
20	ハクセキレイ	1	3	0	0
21	カワラヒワ	0	0	7	0
合計個体数		89	67	46	115
合計島別種数		11 種	8 種	7 種	14 種
合計種数		12 種		17 種	

表9 ラインセンサス結果（第2～3回、秋季）

No.	種名	調査月							
		秋季(10月)							
		第2回(H28)				第3回(H29)			
		L1(北側)		L2(南側)		L1(北側)		L2(南側)	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	キジバト	4	7%	4	5%	4	6%	1	1%
2	カワウ	0	0%	5	7%	3	5%	2	2%
3	イソシギ	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%
4	ユリカモメ	0	0%	0	0%	4	6%	2	2%
5	ウミネコ	0	0%	10	14%	0	0%	0	0%
6	ミサゴ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
7	オオタカ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
8	モズ	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%
9	オナガ	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%
10	ハシブトガラス	1	2%	4	5%	4	6%	2	2%
11	シジュウカラ	1	2%	0	0%	1	2%	0	0%
12	ヒバリ	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
13	ヒヨドリ	11	20%	8	11%	17	26%	68	69%
14	ウグイス	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
15	メジロ	0	0%	0	0%	2	3%	5	5%
16	ムクドリ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%
17	スズメ	31	56%	40	55%	24	37%	14	14%
18	ハクセキレイ	4	7%	2	3%	0	0%	0	0%
19	カワラヒワ	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%
20	アオジ	0	0%	0	0%	0	0%	3	3%
合計	20種	55	100%	73	100%	65	100%	99	100%
		9種		7種		12種		10種	

表 10 定点観察調査結果(1) (第2~3回、秋季)

No.	種名	調査月															
		秋季(10月)															
		第2回(H28)								第3回(H29)							
		北側				南側				北側				南側			
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	マガモ	0	0%	6	8%	5	8%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	カルガモ	7	11%	6	8%	0	0%	5	10%	5	7%	8	30%	3	7%	1	3%
3	オナガガモ	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
4	キジバト	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5	カワウ	5	8%	1	1%	0	0%	11	22%	7	10%	3	11%	0	0%	3	8%
6	アオサギ	10	16%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
7	コサギ	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
8	オオバン	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	13%
9	イソシギ	2	3%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	3	11%	1	2%	1	3%
10	ユリカモメ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	10	14%	0	0%	0	0%	6	15%
11	ウミネコ	0	0%	1	1%	7	11%	8	16%	1	1%	0	0%	2	5%	0	0%
12	セグロカモメ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%
13	ミサゴ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
14	トビ	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	2	3%	0	0%	0	0%	0	0%
15	ハヤブサ	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
16	モズ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
17	オナガ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%
18	ハシブトガラス	0	0%	0	0%	4	6%	3	6%	5	7%	0	0%	0	0%	5	13%
19	シジュウカラ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	3%	0	0%	2	5%	5	13%
20	ヒヨドリ	11	18%	54	68%	41	62%	10	20%	15	22%	5	19%	22	51%	14	35%
21	ウグイス	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%
22	メジロ	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%

表 10 定点観察調査結果(2) (第2~3回、秋季)

No.	種名	調査月															
		秋季(10月)															
		第2回(H28)								第3回(H29)							
		北側				南側				北側				南側			
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
23	ムクドリ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
24	ジョウビタキ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	4%	0	0%	1	2%	0	0%
25	スズメ	19	31%	8	10%	1	2%	9	18%	15	22%	3	11%	8	19%	0	0%
26	ハクセキレイ	2	3%	2	3%	3	5%	1	2%	3	4%	2	7%	1	2%	0	0%
27	カワラヒワ	0	0%	0	0%	3	5%	0	0%	0	0%	3	11%	0	0%	0	0%
合計		61	100%	80	100%	66	100%	49	100%	69	100%	27	100%	43	100%	40	100%
		12種		9種		9種		9種		12種		7種		11種		8種	



カルガモ



ホシハジロ



スズガモ(留意種)



キジバト



アオサギ



オオバン(留意種)



ウミネコ



トビ(重要種)

写真 2 (1) 鳥の島で確認した主な鳥類



オオタカ(重要種)



ハヤブサ(重要種)



モズ(重要種)



ヒヨドリ(群れ)



ジョウビタキ



スズメ



ハクセキレイ



アオジ

写真 3 (2) 鳥の島で確認した主な鳥類